

今月の保育目標と予定

保育目標

予定

今月のテーマ
「遊ぶのだいすき」

目 標

友だちの遊びに目を向けたり、挑戦したりしながら、楽しいことを見つける。
自分なりに遊びの目標を持って、楽しみに登園する

ひ と こ と

幼稚園でのお気に入りの遊びや場所を少しずつ見つけてきた子どもたちです。隣を見るといつも一緒に笑っている子がいることに気づき、少しずつ名前を覚えゆっくと仲良しに。片づけになるとちょっぴり残念そうにしながらも「また明日やろうね」とにっこり。明日の楽しみのできあがりです。友だちと一緒に遊ぶことが増えた分、けんかもできるようになり年長児が「どうしたの?」と一緒に考えてあげる姿も見られます。子どもたちの「楽しみ」を一緒に探し、見守り、過ごしていこうと思います。

今月の聖歌「おかあさんだいすき」

今月の歌

「そらでえんそくしてみたい」

今月の行事から

22日 交通安全教室

午後1時から降園の時刻前まで、親子参加で交通安全教室を行ないます。川越警察署の交通課の方が、幼稚園の子どもたちにも楽しく分かりやすくルールを教えてくださいます。ご都合のつく方はどうぞご参加ください。

29日 年長すみれ組園外活動

伊佐沼にある大橋先生の畑をお借りして、年長すみれ組で畑を耕し、さつまいもの苗を植えに行きます。収穫の時期には全園児でいもほりを計画しています。

| 日 | 曜 | 行事などの予定 |
|----|---|-----------------|
| 1 | 火 | |
| 2 | 水 | |
| 3 | 木 | 憲法記念日 |
| 4 | 金 | みどりの日 |
| 5 | 土 | こどもの日 |
| 6 | 日 | |
| 7 | 月 | 個人面談週間 |
| 8 | 火 | 第2回保護者会総会 |
| 9 | 水 | |
| 10 | 木 | 園児内科健診 アルミ缶回収 |
| 11 | 金 | 全体礼拝 |
| 12 | 土 | 休園日 |
| 13 | 日 | 野澤達也園長先生30年感謝の会 |
| 14 | 月 | |
| 15 | 火 | 親子遠足 |
| 16 | 水 | 親子遠足予備日 |
| 17 | 木 | |
| 18 | 金 | 全体礼拝 |
| 19 | 土 | 休園日 新採研 |
| 20 | 日 | |
| 21 | 月 | |
| 22 | 火 | 交通安全教室 |
| 23 | 水 | 役員会 |
| 24 | 木 | |
| 25 | 金 | 全体礼拝 |
| 26 | 土 | 休園日 |
| 27 | 日 | 聖霊降臨日 学園理事会 |
| 28 | 月 | |
| 29 | 火 | 年長すみれ組園外活動 |
| 30 | 水 | 5月生まれ誕生会 |
| 31 | 木 | |





今月の聖書のおはなし



5月11日より川越キリスト教会で全体礼拝を行ないます。教会までの行き帰りは手つなぎペアの友だちと一緒に手をつなぎます。この一年でゆっくりとペアの友だちとの交流も深めていきたいと思います。また、子どもたちが落ち着いてくる6月以降より、保護者の方も全体礼拝に自由に参加できます。その際には聖歌ファイルをご持参していただけると良いと思います。

5月11日 「漁師を弟子にする」

ルカによる福音書 5章 1～11

イエス様は漁師シモンの舟に乗り、岸から少し離れたところでお話をしました。お話が終わるとイエス様はシモンに、網を張り漁をするように言いました。夜通し漁をして1匹も獲れなかったシモンは疑問を抱きながらもイエス様に言われた通りに網を下ろしました。すると、おびただしい数の魚がかかり、舟いっぱいになりました。漁師だったシモンは、すべてを捨ててイエス様のお弟子さんになりました。シモンはのちにペトロと呼ばれ、12人のお弟子さんの1人になりました。

5月18日 「5つのパンと2匹の魚」

マタイによる福音書 14章 13～21

イエス様は群衆に話をしました。夕方になり、人々の食事を心配した弟子が、群衆を解散させ帰らせるように言いました。するとイエス様は弟子たちに人々に食べ物を与えるように言いました。5つのパンと2匹の魚しかないことをイエス様に伝えると、イエス様は天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになりました。弟子たちがそのパンを人々に与えると、5千人もの人々が満腹になりました。そして、残ったパンのくずを集めると12のかごがいっぱいになりました。

5月25日 「中風の人をいやす」

マルコによる福音書 2章 1～12

イエス様は病で困っている人を何人もいやされてきました。そのうわさは広まり、イエス様の行くところにはいつも人々が集まってきました。イエス様がある家で神様のお話をされていると4人の男が中風の人を運んできました。しかし、人がたくさんいて中には入れません。そこで屋根の一部をはがして病人の床をつり下ろしました。イエス様は「子よ、あなたの罪は赦される。床を担いで家に帰りなさい」と言うと、その人は起き上がり床を担いで帰りました。これを見ていた人々は驚き、神を賛美しました。

(中塚 梢)